

小野 立

(議会改革を推進する諸派の会)

役七夕の伝統継承のため、日本遺産申請を

【質】国が文化財を通じた地域活性化を包括的に支援する新政策「日本遺産」。役七夕の伝統継承に道筋をつける絶好の好機だ。申請の要件を満たすには県をまたいだ連携が必須となるが。

【答】役七夕で申請するには、同じねぶ流し行事で、国指定無形民俗文化財の「青森のねぶた」や「弘前のねぶた」、「秋田の竿燈」等と連携した、「シリリアル型」が考えられる。現在、役七夕のほか、北前船寄港地や菅江真澄をテーマに、日本遺産登録に向けた動きもある。それらの動向等を踏まえ検討したい。

地域経済への影響(打撃)のはかり方

【質】イオン側の報告では年内に着工申請するとのことだが、市長は出店が確定した段階で地域経済への影響を再検証すると繰り返してきた。調査は、いつ、どんな項目で行う予定か。

【答】最初の出店計画から約10年が経過しており、今後明らかにされる計画の全容を確認した段階で再度コミュニケーションを実施したいと考えている。

その他の質問事項

- 外洋の洋上風力、送電網は空きゼロ
- 自治会館修繕補助金、その使い勝手
- 能代宇宙イベントへの支援拡大を

後藤 健

(平政・公明党)

役所内で政党新聞の勧誘・集金をやめよ

【質】課長級以上54名のアンケート結果から、不必要と捉えつつ、市議からの勧誘を断れずにやむを得ず52名が不満ながら購読させられている。公務員の中立性、公平性からしてすぐにもやめるべき。

【答】現在、就業時間外における政党機関紙の庁舎内での勧誘、配布、集金は制限等を行っていない。新庁舎は執務スペースがオープンフロアとなるなど、庁舎の形状が変わることもあり、公務の円滑な遂行や中立性の観点から、政党機関紙に限らず、庁舎内での物品の販売、勧誘等の行為は、他市の事例も参考にし、対応を検討したい。

地元経済波及効果に資する宿泊補助

【質】交流人口をふやし地元の経済波及効果に貢献するには、合宿も大会参加も関係ないはず。いかに多くの人に能代に足を運んでいただき、能代の活性化につなげることが大事。補助のあり方の見直しを。

【答】補助金交付の趣旨である「スポーツや健康・文化活動等による滞在型観光施策として地域の活性化に資する」ということを踏まえ、今後の滞在型観光を一層進めていくため、その条件等の見直しについて、早急に検討したい。

その他の質問事項

- 落合テニスコートの早期の整備を望む
- 除雪車運行システムの導入の考え方

安岡 明雄

(改革ネットワーク(市民の声、日本共産党、改革のしろ))

職員の意識改革、業務改善を進める取り組み

【質】社会環境の変化に伴い、業務内容も変化するが、できる業務量には限りがあり「継続すべき業務、新たにふえた業務、見直しすべき業務」と業務の質的組みかえが必要である。取り組みを進める考えは。

【答】各部局の業務量と職員数のバランスが保てなくなっている。現在、第2次定員適正化計画の見直しを進めているが、業務量と職員数のバランスを図りながら、財政的にも持続可能なものにするためには、限られた資源の中でどのように業務の取捨選択を行い、業務量を管理していくのかという視点が重要になると考えている。

民生委員活動の課題解決の取り組み状況

【質】人口減少、高齢化が進み、民生委員活動の重要性や活動負担の増大が想定される。課題解決に向け、市が行っている検討段階を具体的な実施段階に移すべきだ。課題解決への取り組みを伺う。

【答】定数の増を県に要望したところ、2名の増が決定した。民生委員の協力員は、現在、社会福祉協議会において高齢者等の見守り活動を行っている巡回相談員との連携を強化する具体的方向を検討したい。また、地区会長会議で意見交換を継続し、民生委員児童委員の皆様と一緒に可能なところから改善したい。

その他の質問事項

- 政策形成・検証のデータ有効活用
- 無作為抽出で選ばれた市民との対話
- 現場情報がわかる資料づくり